

学校だより(いしがき)

第10号 令和3年7月9日
文責 校長 石橋 節二 TEL94-2038

学校教育目標

「ふるさと中原を担う生徒の育成」
～自律と共同を通して～

前号の難読漢字の読みで**鋤をすき**と書いていましたが、ご指摘をいただき、詳しく調べてみました。農具で**鋤(くわ)**、**鋤(すき)**が正しいと分かりました。パソコンで打つとどちらも出てくるので間違っ理解してました。詳しく調べる機会をいただき、ありがとうございました。

今回の学校だよりは、校歌作詞者 **宮崎 安一(みやざき やすいち)** 氏、ふるさとの方言No.10(最終回)、身近な野鳥パート19「ハト」、新聞難解語句、難読漢字、7月中旬～9月中旬の主な行事です。

◎校歌作詞者 宮崎 安一 氏について

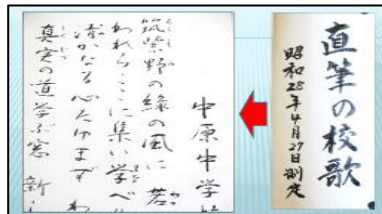
学校だより第8号は中原中学校校歌の作曲者池内友次郎氏について紹介しました。今回は、作詞者と歌詞に込められた願いについて紹介します。


校歌の作詞者は**宮崎 安一**氏(1905～1981年)です。みやき町教育委員会社会教育課作成資料によると、宮崎氏は中原校区原古賀(小学校の前付近)の方で、九州三大歌人と称される**中島 哀浪(なかじま あいろう)**氏の門下の歌人として活躍され、第二回哀浪賞やひのくに功労賞等を受賞されています。校長室には、宮崎氏直筆の校歌掛け軸が掲げてあります。

校歌の歌詞で、若鷹(わかだか)、ましみず(真清水)、せふりやまなみはぜもみじ(樺紅葉)という言葉が出てきます。私自身は、それぞれの言葉から季節や情景を想像しました。それは、若鷹(春～初夏)＝成長期の皆さん、真清水(夏)＝透きとおった水＝清らかな心、樺紅葉(秋)＝故郷中原の情景(勉学の秋、真理を究める道)などです。

皆さんは、この校歌からどんなことが思い浮かびますか?校歌を歌うとき、情景を連想しながら、また、歌詞の意味や作詞者がこの校歌に込めた願いを考えながら歌うと、この校歌が素晴らしいものだと思えると思います。

※中島 哀浪(1883-1966年)氏は佐賀市久保泉の出身で、北原 白秋や若山 牧水と並ぶ九州三大歌人と称され、歌誌『ひのくに』の刊行に尽力しました。千代田中や東脊振中、鳥栖工業高校の校歌の作詞もされています。



みやざき やすいち 宮崎 安一	
	1905年生～1981年 76歳ご逝去 中原村原古賀出身
歌誌『ひのくに』の歌人	
<ul style="list-style-type: none"> ・中島哀浪の門下で小哀浪といわれ、第二回哀浪賞「ひのくに」功労賞受賞 ・中原中学校校歌作詞 	
昭和48年4月2日付け 佐賀新聞より引用	

一、筑野の みどりの風に
若鷹の 声ひびく丘
胸おどる 希望に燃えて
われらここに 集い学べり

二、朝晴れし 春振山脈
真清水の めぐりゆく里
清かなる 心たゆまず
われらつねに 鍛え上げまん

三、樺紅葉を 照りそう丘迎
真実の 道学ぶ恋
新しき 世代を迎え
われらいざ 進み拓かん

④はぜもみじ
＝樺紅葉



はぜの葉の紅葉 和蠟生産

中原＝わろう の生産で有名

○本校校歌作詞者(宮崎 安一 氏)ご親族来校

令和3年2月15日 宮崎安一先生のご親族の方々が来校されました。来校されたのは安一先生の次男さん(中原在住)と長男さんの奥さんとその息子さん(安一先生のお孫さん)で、全校集会や学校だよりで校歌の話が紹介されているということをお知りになり、本校を訪られました。直筆の校歌掛け軸をご覧になり、懐かしい筆跡だと感動されたり、真清水(ましみず)や若鷹の声ひびく丘、樺紅葉など歌詞に込められた故郷への思いや若い世代に託した願いに改めて感動されたりしておられました。

写真は、直筆の校歌掛け軸の前で記念に撮影したものです。私自身にとって、とても有意義な時間でした。



○ふるさとの方言 No.10(最終回)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ①よかあんびゃー・・・ちようどよい | ②いいこわっ・・・言い張る |
| ③いかん・・・だめ 行かない | ④いきがけ・・・出かける間際、途中 |
| ⑤いたてくっ・・・行ってくる | ⑥いっちょかれた・・・おいて行かれた |
| ⑦いっちょん・・・全く 少しも | ⑧いひゅーか・・・短気でおこりっぽく根性悪 |
| ⑨いんにゃ・・・いいえ | ⑩うっかんぐっ・・・こわれる |
| ⑪うっさごとゆー・・・嘘をつく だます | ⑫うったたく・・・叩く |

【漢字よみ】①しんらつ ②しゅうえん ③ぜいじゃく ④せんこう ⑤しんかん ⑥こんぼう ⑦まがたま

○身近な野鳥 パート19 「キジバト」と「ドバト」

【ドバト】

もともとユーラシア大陸に棲息するカワラバトから家禽としてつくられました。人を恐れず、市街地の環境にすっかり定着していますが、海外から持ち込まれた移入種です。奈良時代には、既に日本に定着し、神社や寺院のお堂や塔などに棲みついていたそうです。名前の由来は、お堂にいるハトだから「堂バト」→**ドバト**となったそうで、通信手段がなかった古代エジプトの時代から、カワラバトは様々な情報を遠地に伝える**伝書鳩**として重宝され、家禽化されました。



【キジバト】

「デデッポッパー」と、のどかに鳴く身近なハト類で野生のハトでは最も身近な存在です。本州から沖縄まで留鳥として分布します。山奥から都会に進出してきたのは1960年代頃で、今では平地農村地帯や住宅の庭先、公園などでも見ることができます。羽縁が赤褐色で、ウロコ状に見える模様が**キジ**のメスの上面に似ているのが和名の由来です。近代オリンピックでは、開会式で「**平和の象徴**」としてハトを飛ばしますが、この起源は、**旧約聖書「ノア方舟」**…邪悪な人間を滅ぼす大洪水の終わりを告げたのがオリーブの小枝をくわえたハトで、その後平和な世界になったことから、ハトが平和の象徴となったといわれています。



○難解語句 「一時雨」と「時々雨」の違いは？

先日、テレビのクイズ番組で、「一時雨」と「時々雨」の違いは？という設問がありました。皆さんたちはお分かりでしょうか？改めて聞かれると、私自身説明ができなかったので調べてみました。

まず、「一時雨」とは、**連続して6時間未満の雨が降る状態**です。予報期間が24時間の場合、「曇り一時雨」は、予報期間の4分の1にあたる6時間未満の雨が連続して降ると予想される時に使われます。例えば、7時～10時の3時間連続した時間に雨が降った場合は、予報期間の4分の1(=6時間)未満になるので、「一時雨」ということになります。

それに対して「時々雨」は**断続的に短時間の雨が複数回降る状態**で、予報期間の2分の1にあたる12時間未満の雨が降ると予想され、さらに、**雨が止んでいる時間帯が約1時間以上**あるような断続的な降り方が予想される時に使われます。例えば、24時間のうち雨が降っているのは、7時～10時の3時間と14時～16時の2時間の合計5時間降る場合、雨が降っていた時間は予報期間の4分の1(=6時間)未満ではありますが、「連続して5時間」ではなく、1時間以上雨が止んでいる時間があり、かつ雨の時間は予報期間の2分の1(=12時間)未満であるため、「時々雨」となるようです。

○新聞難解語句

ロジスティック (logistic) : 原材料の調達から生産・販売等の物流の諸機能を高度化し管理すること

思いやり予算 : 在日米軍駐留費の一部を日本が負担している。令和元年度は1974億円。

PTSD : 心的外傷後ストレス障害のことで、極端なストレスが、様々な心身の症状を引き起こす。

可逆性 (かぎやくせい) : 外部に何ら変化を残さずに元の状態に戻すことができること。

螺鈿 (らでん) : 美しい貝殻を彫刻して漆地や木地にはめ込む技法。螺は貝、鈿はちりばめることを意味する。

直会 (なおらい) : 祭事が終わってのち、供え物の神酒(みき)・神饌(しんせん)を下げて酒食する宴。

○難読漢字 (いくつ読めますか?)

①辛辣 ②終焉 ③脆弱 ④閃光 ⑤震撼 ⑥梱包 ⑦勾玉

○7月中旬～9月中旬の行事予定

- ・1学期終業式 7/20 (火)
- ・県中体連大会 7/24 (土)～7/26 (月)
- ・全校登校日 8/5 (木)
- ・3年生 SAGA テスト 8/24 (火)、25 (水)
- ・2学期始業式 9/1 (水)
- ・生徒朝会 9/6 (月)

※太文字は全校生徒関係分

- ・1, 2年生二者面談、3年生三者面談 7/26～8/2
- ・県吹奏楽コンクール 7/25 (日)
- ・学年登校日 1, 2年生 8/23 (月)
- ・【中止】2年生職場体験 8/24 (火)～26 (木)
- ・学力テスト 9/2 (木)、3 (金)
- ・3年生修学旅行 9/14 (火)～16 (木) 鹿児島方面